

市長自ら「先ず隗より始めよ！」と言われた
行財政改革強化集中プランだが、
何から着手するのか!?

平松 久幸 議員



行財政改革について

平松 特別職給与カット(市長10%副市長7%教育長5%)に取り組むことによる効果を問う。

企画財政部長 本市の厳しい財政を踏まえ、特別職が率先して「身を切る姿勢」を示す必要がある。財政的な効果は、3年間で800万円程度を見込んでいる。

平松 歳入の確保で新たな財源の獲得とある。具体的な取り組みを問う。

企画財政部長 国の補助金等に関する情報の収集や事業との適合性の精査をすることも、計画内容の向上に努める。必要に応じて、市長自ら国・県に対して直接要望活動を行う。



▲動画視聴はこちらから

物価高の現実に対応!
少額契約の上限額、見直しへ!

川上 雅美 議員



少額物品調達等契約希望者簡易登録制度について

川上雅 9月定例会で質問してから制度の上限額の見直しに向けて、市としてのどのような検討を進めてきたのか、現時点での進捗状況、また方向性はどうか。

総務部長 物価高騰、人件費の上昇も継続していること、他市においても物品購入や役務業務について、10万〜30万円を少額な物品調達等契約可能金額として運用していること。また、上限額を見直すことにより、入札や見積もり合わせの執行における影響も限定的と見込まれることなどから、現状の物品購入・10万円、修繕業務や工事請負費・30万円の契約可能な金額を引き上げたいと考えている。

川上雅 見直しに向けた今後の



▲動画視聴はこちらから

地域の生活支援への取り組み
一歩前へ!!

前野 洋行 議員



農村型地域運営組織について

前野 議会報告会で各地区の皆さんの声を聴く中、集落機能の維持が年々困難になっているという意見が多くあった。こうした中で、集落営農組織や中山間地域直接支払組織がまちづくり団体や社会福祉協議会等と連携した「農村型地域運営組織」を設立し、地域の農用地保全や生活支援を行う地域支援組織の確立が重要だと思うが、集落支援員を配置する等、そのサポート体制を整備し、本市として取り組むことはできないか。

産業経済部長 現在のところ、市内でそういった支援組織はないが、今後要望があるようであれば、様々な面で支援を行って



▲動画視聴はこちらから

コンサルティングの進捗状況が
報告されたが実現できるのか

森 和之 議員



成羽病院の現状と経営改善について

森 成羽病院の経営改善についての進捗状況の報告を市長はどう受け止めているのか。

市長 成羽病院はへき地拠点病院であり、民間では進出できない不採算部門も多く抱えているからこそ、公で見えていかなければならぬと考えているが、今の厳しい経営状況だと続けていくのが困難であると思っている。

特別養護老人ホーム鶴寿荘の今後について

森 特別養護老人ホーム鶴寿荘の現状と方向性(案)について市長の考えを聞きたい。

市長 介護職員の不足と入所者の確保が難しい状況が進み、施設収入が伸びず非常に厳しいと感じている。

本市の特別養護老人ホームのニーズを踏まえ、コンサルティング最終報告を検討した上で、入所者の生活を最優先に設置者として判断していきたい。



▲動画視聴はこちらから